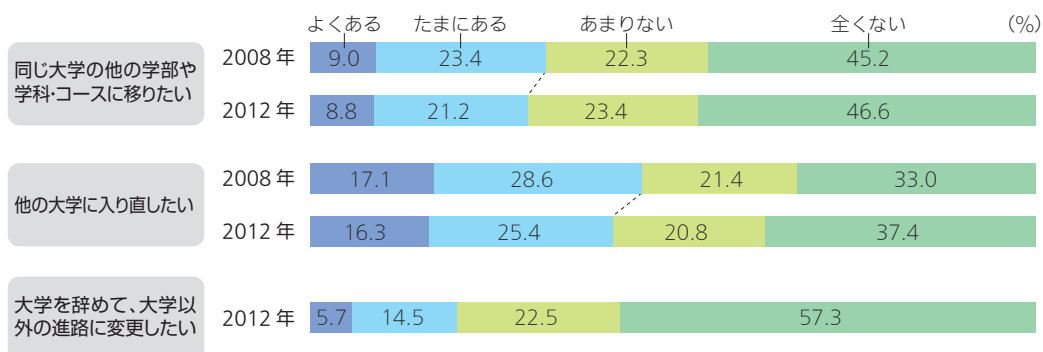


「大学を辞めて大学以外の進路に変更したい」と思うことのある学生が2割

「同じ大学の他の学部や学科・コースに移りたい」(学内での転学部・転学科)を考えたことのある学生の割合は30.0%([よくある]+[たまにある]の%、以下同)、「他の大学に入り直したい」(他大学への編入・再入学)については41.7%で、いずれも4年前から大きな変化はない。また、「大学を辞めて、大学以外の進路に変更したい」(大学以外の進路変更)を考える割合は20.2%であった(図27)。これら3項目について、入学時の大学志望度と、専攻の学問分野の一致度に分けて違いをみたものが図28である。「他の大学に入り直したい」は、いずれも大学志望度、学問分野の一致度による差異が大きいが、その他の2項目では学問分野の一致度の方で、差異が大きくなっている。希望した分野の学部・学科に入れなかったことの方が入学後の影響が大きいが推察される。

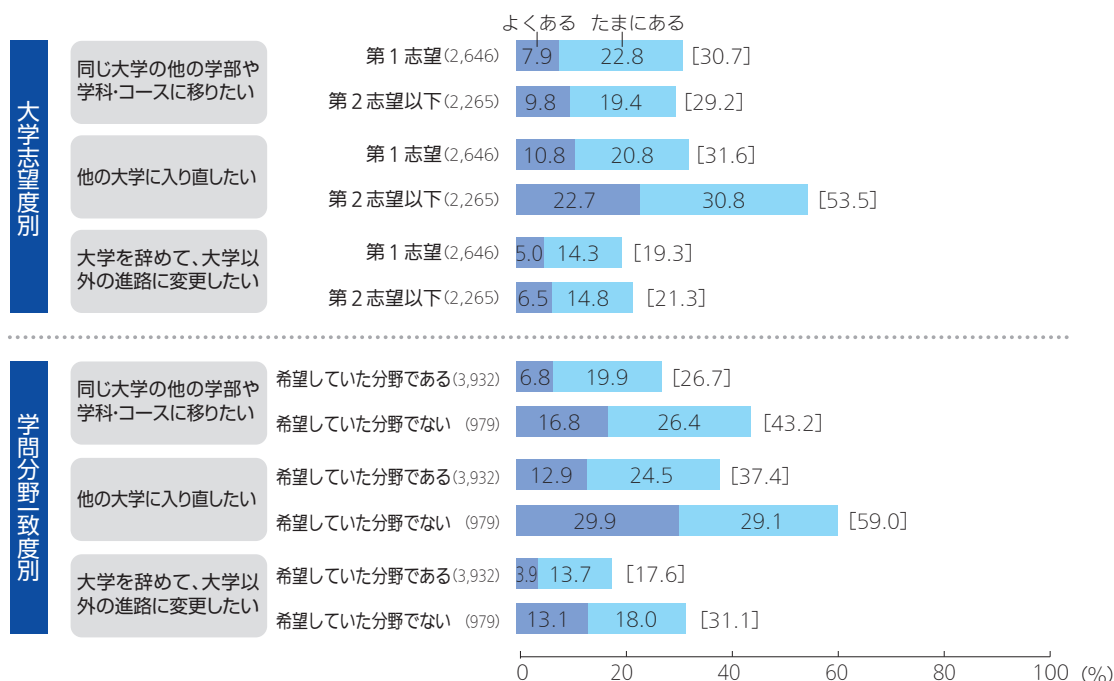
Q あなたは現在の大学生活の中で、次のように思うことはありますか。それぞれについて、あてはまるもの1つをお選びください。

図27 入学後の進路変更の意向(経年比較)



注)「大学を辞めて、大学以外の進路に変更したい」は2008年調査ではたずねていない。

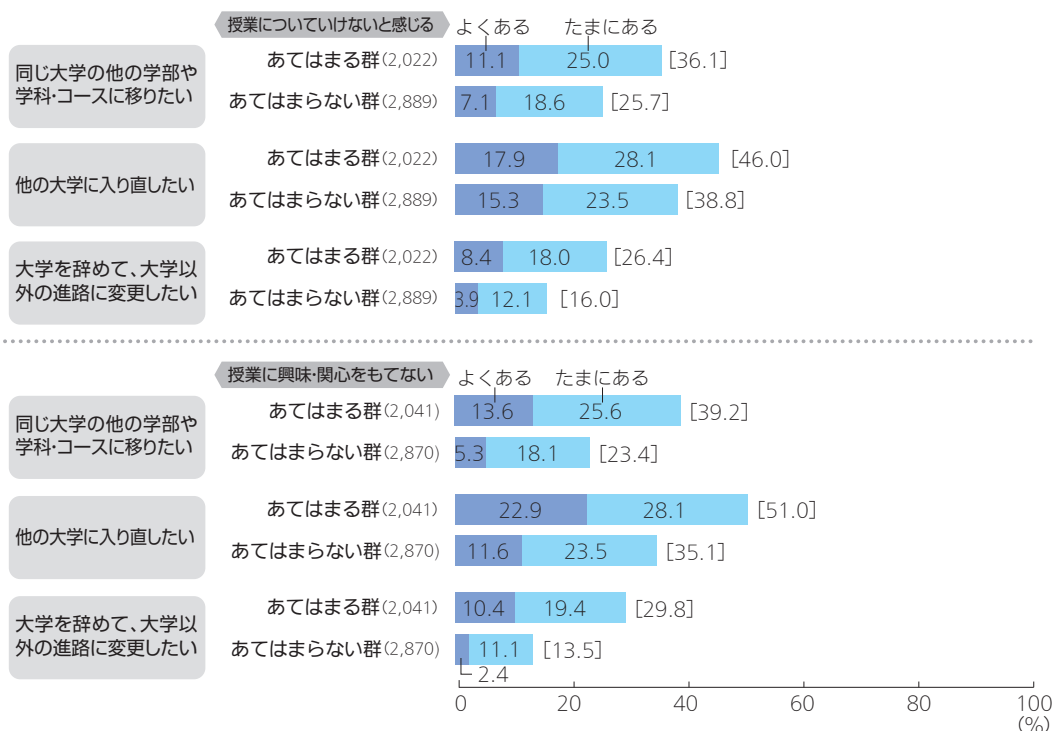
図28 入学後の進路変更の意向(大学志望度別・学問分野一致度別)



注1)学問分野の一致度は、「現在通っている大学の学部・学科は入学前にあなたがもっとも学びたいと思っていた学問分野でしたか」との質問に対し、「はい」「いいえ」で回答してもらったもの。「希望していた分野である」は「はい」、「希望していた分野ではない」は「いいえ」を表す。
 注2) []内は「よくある」+「たまにある」の合計(%)を表している。図29も同じ。

次に、授業に対する意識別に違いをみたものが図29である。「授業についていけないと感じる」「授業に興味・関心をもてない」について、「あてはまる」と回答した群と「あてはまらない」と回答した群に分けて比較をした。3つの項目のいずれも「あてはまる群」の方が高く、「授業についていけないと感じる」で各項目ともそう考える割合（「よくある」+「たまにある」の％）に10ポイント程度の差異、「授業に興味・関心をもてない」で15ポイント程度の差異となっている。表6は、3つの項目それぞれについて「よくある」と回答した学生の、その理由についての記述内容から多く見られた内容をまとめたものである。比較的前向きな理由もある一方で、入学前のイメージとの不一致や経済的な事情といった理由も少なくない。

図29 入学後の進路変更の意向（授業適応度別）



注「あてはまる群」は3つの各項目について「とてもあてはまる」「まああてはまる」と回答した人、「あてはまらない群」は「あまりあてはまらない」「全くあてはまらない」と回答した人を表す。

表6 入学後の進路変更を考える理由（自由記述分析）

質問内容	カテゴリー	記述内容例
同じ大学の他の学部や学科・コースに移りたい	1. やりたいことの変更／発見	勉強したい分野と今の学部で学べる分野とが違うから／大学に入った後に本当にやりたいことが決まったから
	2. 他の分野への興味	他の学問を学びたかった。今の学部の勉強に興味がない／幅広くもつというんなことを学びたい
	3. イメージとの不一致	現在の学科は理想と違っていたから／学びたい内容と現実の差／勉強内容が自分に合わなかったから
他の大学に入り直したい	1. 不本意入学	勉強しなおして第一志望だった大学に入学したい／第一志望が諦められなかった
	2. レベル・知名度	学歴に対して劣等感がある／学校自体のランクが低い／大学(学生)のレベルが低い／知名度が低い／大学名
	3. 大学の雰囲気	大学の雰囲気は全く合わない／大学の規模が小さい／キャンパスの周辺に何も無い／田舎すぎる／立地が悪い
大学を辞めて、大学以外の進路に変更したい	1. やりたいことの実現	将来やりたいことが別にできたため／起業などをしてみたい／海外へ行きたい／大学に行く意味が感じられない
	2. 就職・経済的事情	学費が高い／就職してお金を稼ぎたい／このまま大学にいて就職できるか不安／早く経済的に自立したい
	3. 専門学校希望	専門学校で芸術分野を学んでみたかった／もともと専門学校に行きたかったが親に許してもらえなかった

注)3つの項目別に、「よくある」と回答した人に対し、その理由をたずねたもの。